

26 事務所

【関連章第7章9】

事例2 「事務所内のテーブルタップのコードから出火した火災」

出火時分 4月 16時ごろ

用途等 複合用途（事務所・飲食店等） 耐火造 21/1 延 47,000 m²

防火管理 該当選任あり 消防計画あり

被害状況 建物ぼや1棟 テーブルタップ1個等焼損

概要

この火災は、複合用途建物の6階事務所から出火したものです。

出火原因は、フロアコンセントに接続されたテーブルタップのコードを金属製のフロアコンセントカバーで挟み込んだことで配線被覆が損傷し、フロアコンセントカバーを介して短絡し出火したものです。

従業員は同僚が隣を通り過ぎる際に、足元から「バチッ」と音になるのと同時に煙が発生したことに気づきました。確認するとテーブルタップのコードが焼損しているのを発見しました。

発見者は建物管理会社に火災の旨を連絡し、建物管理会社は防災センター職員に連絡しました。連絡を受けた防災センター職員は焼損したコードを確認し119番通報しました。

本火災における、初期消火は実施されていません。

教訓等

この火災は、コードがフロアコンセントカバーの配線通し穴ではない場所に通してしまったことで、コードがカバーに挟まれて損傷したため発生した火災です。コードは踏みつけたり折れ曲がったりすると、コードの被覆が破れ、コード内部の心線が露出することがあり、露出した心線は、金属等の導電物を介して地絡や短絡を起こして出火してしまいます。

コードを床に置く際にはコンセントカバーや机の足等で踏みつけたり、無理に折り曲げたりしないようにしましょう。

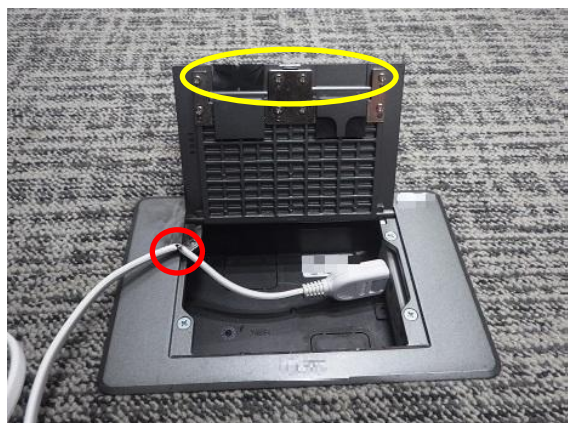


写真 26-3 配線通し穴の位置及び復元状況



写真 26-4 フロアコンセント付近の焼損状況